

ギニア月報(2020年8月)

主な出来事

【内政】

●5-6日、与党ギニア人民連合(RPG)は、次期大統領選挙の候補者としてコンデ大統領を指名。

●14日、コンデ大統領は、新型コロナウイルスの流行に対する措置として、既に発出されているギニア全土における非常事態宣言を、8月16日より更に1カ月間延長。

【外政】

●21、28日、コンデ大統領はマリの情勢に関する ECOWAS 臨時首脳オンライン会合に出席。

【経済】

●1日、アフリカ開発銀行は、新型コロナウイルス対策として、ギニア、ベナン、トーゴの3か国に合計6,032万ユーロの支援を行うことに合意。ギニアには2,948万ユーロが割り当てられる。

●27日、新型コロナウイルス対策のため、中国より約10名の医療専門家が派遣され、コナクリに到着。

1 内政

- ・ 3日、PADESのウスマン・カバ党首は、次期大統領選挙への立候補を表明。
- ・ 5-6日、与党ギニア人民連合(RPG)は、次期大統領の候補者としてコンデ大統領を指名。主要野党はRPGの決定に関し、三選を禁止する憲法に反するクーデター行為であるとして非難。
- ・ 11日、大統領令により、独立選挙管理委員会(GENI)により提案されていた大統領選挙の日程(10月18日)が承認。
- ・ 14日、コンデ大統領は、新型コロナウイルスの流行に対する措置として、既に発出されているギニア全土における非常事態宣言を、8月16日より更に1カ月間延長。
- ・ 17日、米国は、大統領選挙に向け、民主的な体制及びプロセスの重視を改めて明確にする旨のコミュニケを発出。
- ・ 19日、GENIは、大統領選挙立候補者のための供託金を候補者1名あたり8億ギニアフランとし、選挙運動に要する費用の上限を210億ギニアフランとする旨決定。
- ・ 19日、憲法裁判所は、次期大統領選挙の立候補届出を8月19日から9月8日までとする旨発表。
- ・ 21日、UPG、PADES、ARENA、FAN、RGDの5政党が、大統領選挙への候補者擁立を正式に発表。

- ・ 24日、ECOWAS 専門家ミッションがコナクリに到着。

2 外政

- ・ 19日、護憲国民戦線(FNDC)は、18日にマリにおける国軍兵士による反乱に対するコミュニケを発表し、マリの人々が平和かつ責任が伴った方法で政権を略奪したことを祝福。
- ・ 21日、28日、コンデ大統領はマリ情勢に関するECOWAS臨時首脳オンライン会合に出席。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 1日、アフリカ開発銀行は、新型コロナウイルス対策として、ギニア、ベナン、トーゴの3か国に合計6,032万ユーロの支援を行うことに合意。ギニアには2,948万ユーロが割り当てられる予定。
- ・ 18日、ギニア・トルコ経済フォーラム(オンライン形式)が開催。キュルティス投資・官民連携担当大臣及その他、40名程のビジネス万を含む約100名が参加し、インフラや投資、特にギニア・トルコ経済関係及びポスト・新型コロナウイルス協力分野について話し合った模様。
- ・ 25日、シギリで金を採掘する中国企業ギニア・ゴールド・エクスplorेशन従業員は、経営陣によって不当に解雇された人事部長の復職を求め、ストライキを実施。
- ・ 26日、駐ギニア中国大使が、中国が3,000万ドル規模で、コナクリ市コロマ地区に建設する国民議会本部の建設工場の現場を国民議会議長と視察。
- ・ 27日、新型コロナウイルス対策のため、中国より約10名の医療専門家が派遣され、コナクリに到着。同医療チームは、周国家主席が中国・アフリカ臨時サミットの際に、アフリカの国々へコロナ支援を行う旨表明した後に派遣された第一団。
- ・ 31日、令和元年度補正予算 IOM 経由案件、「国境周辺のコミュニティのエンパワーメントを通じた社会安定化支援」が、ンゼレコレ州にて開始。

(了)